

寄居町から2工場が 「彩の国工場」に指定されました！

11月7日にさいたま市の知事公館で「彩の国工場」指定制および知事との交流会が開催されました。町内からは、彩の国資源循環工場内で廃蛍光管の回収・リサイクルを行う株式会社ウム・ヴェルト・ジャパン(小柳明雄代表)と、高性能樹脂エンジニアリングプラスチックを製造する東栄化学工業株式会社(福島淳代表)が新たに「彩の国工場」へ指定されました。

「彩の国工場」とは、技術力や環境面で優れている工場を知事が豊かな彩の国づくりの協力者(パートナー)として指定するもので、今年度は21工場が加わり、合計567工場となりました。

小柳さんは「彩の国資源循環工場内の一企業として、経営理念の一つである“循環型社会・環境を創造”し、今後も環境負荷の低減および地域に愛される工場づくりを目指していきます」、福島さんは「地域貢献活動や環境保全活動を通じて、企業市民として社会・環境に配慮した地域に親しみのある企業を目指していきます」と話してくれました。



▲小柳明雄代表(左)と上田知事(右)



▲福島淳代表(左)と上田知事(右)

実施しました！ 地域共助の防災体制づくり事業 避難所開設・運営訓練

町では、11月19日に防災活動に関する理解を深め、防災意識の高揚を図ることを目的に、役場で避難所開設・運営訓練を実施しました。

当日は、各区の自主防災組織等の方々や寄居警察署員、町職員が参加し、NPO法人日本防災士会の指導のもと、災害時に余儀なくされる避難所の開設および運営方法について学びました。

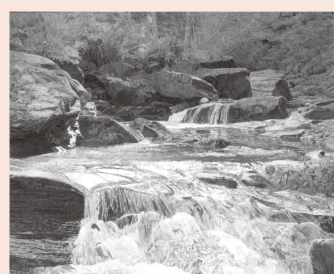
また、同日に寄居町コミュニティ協議会による地域共助の防災体制づくり事業として、防災炊出し訓練や東日本大震災の被災体験者による講演会も実施しました。



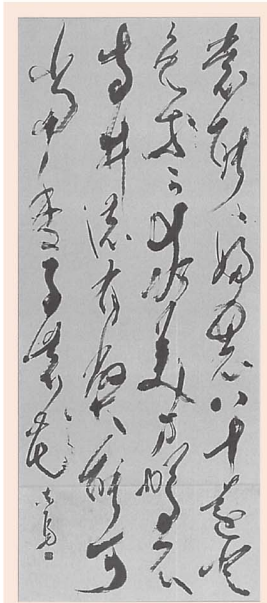
ご紹介いたします！ 日本美術展覧会入選作品

10月28日から12月4日に国立新美術館(東京都)で開催された「改組新第3回日本美術展覧会」に、寄居町から入選された方の作品とコメントをご紹介します。

「秋の風布川」 村松泰弘さん(用土6区)



寄居青渉会で研鑽を積んでまいりました。定年後から本格的に公募展に挑戦しており、昨年の「日展」初入選に続き、今年も入選することができました。寄居の風布川を題材に、秋の風景を描きました。画材は透明水彩です。



「万葉歌」 加藤東陽さん(常木)

今年万葉集の中から、寄居の町花である堅香子(カタクリ)の歌を書きました。群生する中でそれぞれが凛として美しい花を、草書を多用して力強く書き進めてみました。(日展会友・入選16回)

榮能能婦農 八十遠登免等可
寺井濃有弊能 可當香子農花

求美方駕不

実施しました！ 寄居町消防団消防特別点検



町では、10月30日に寄居町消防団消防特別点検を用土グラウンドで実施しました。

青空のもと、消防団員の服装規律の点検から消防車両・機械器具の点検等を行い、消防ポンプ自動車操法では、各団員がきびきびとした動作で日ごろの訓練成果を発揮しました。

荒井郁男さん 埼玉県知事表彰！



寄居薬剤師会の荒井郁男さん(中郷)が、長年の薬事に関する功労が認められ、10月26日にさいたま市で開催された第45回埼玉県薬事衛生大会で、埼玉県知事表彰を受賞されました。

開催されました！ 寄居秋まつり

11月5日と6日に、市街地通りで「寄居秋まつり」が開催されました。各町内から提灯で飾り付けされた7台の山車が曳き出され、祭囃子が奏でられました。山車の曳き回しは暗くなるまで行われ、提灯に明かりが灯された山車の姿は非常に幻想的でした。山車の曳き回しの他、鼓笛隊のパレードなどのさまざまなイベントが開催され、大いに盛り上がりしました。



開催しました！ お月見の会



10月15日に、鉢形城公園でお月見の会を開催しました。

澄みきった夜空には美しい月が昇り、参加者は、生田流箏の会(奈良欣子代表)が奏でる箏の音色に耳を傾けながら、裏千家高橋宗房社中(高橋房子代表)による野点を楽しみました。参加者からは「本格的だ」、「楽しいひとときを過ごせました」との声が寄せられました。

会場で詠まれた句の一部をご紹介します。

古曲にも 似たり今宵の 十三夜(越生町 新井薫さん)
城跡に 箏の音色や 月見会(寄居町 吉田宗功さん)
遠き日の 母の温みや 月夜道(寄居町 皆川喜八さん)